

平成29年度

平成29年4月1日から
平成30年3月31日まで

事業報告書

大阪府中央区上町A番7号

公益財団法人大槻能楽堂

平成29年度事業報告

I 事業の状況

当能楽堂は、世界無形文化遺産である我が国の舞台芸術「能楽」を広く一般に公開し、伝統芸能の振興及び文化・芸術の普及に寄与するため、当法人が企画した公演等上演し、また、所有する能舞台等を貸与する活動を行いました。

本年度の自主公演能ではわかりやすさ、親しみやすさに力をいれ、夏休みおやこ教室では「親子のイルカ」や「お月さま」など、お子様もなじみやすいキャラクターが登場する竹田真砂子先生作の新作能「光」の上演。ナイトシアターの3公演では初心者向けに特化し、初級・中級・上級と公演が進むごとに段階を踏んで観能いただける連続公演を実施いたしました。

また近々の能楽堂改修等の寄附金募集時に寄附者の方が受けられる減税効果を検討し、大阪府民税の寄附金税額控除の適用受けられるように申請し指定いただきました。

本年度実施した事業内容は以下のとおりです。(記載入場者数には招待者数も含む)

1. 伝統芸能「能楽」の振興と普及のため、自主公演能等上演し、広く国民一般への理解に資する事業

(1) 自主公演能事業

・能の魅力を探るシリーズ(年12公演)は「能と和歌」題して百人一首や古今和歌集にちなんだ能の演目と狂言を、また著名な文化人・歌人・研究者を講師に招聘し、演目の解説のみならず、その曲の背景・時代・本説の物語について等のお話も行いました。独立行政法人日本芸術文化振興会より7,406,000円の助成金をいただきました。

開催日	演目	シテ	お話	入場者数
平成29年4月15日	能「実方」	大槻文藏	馬場あき子	424人
5月27日	能「隅田川」	野村四郎	中西進	420人
6月24日	狂言「土筆」 能「芦刈」	茂山良暢 観世喜正	山折哲雄	364人
7月22日	能「頼政」	梅若万三郎	村上湛	352人
8月19日	狂言「子の日」 能「班女」	茂山千五郎 上野雄三	村瀬和子	286人
9月23日	能「三井寺」	浅見真州	高橋睦郎	345人

10月29日	狂言「連歌盗人」 能「安達原」	山本東次郎 武富康之	大森亮尚	414人
11月18日	能「松山天狗」	梅若玄祥	大森亮尚	320人
12月16日	能「江口」	友枝昭世	天野文雄	498人
平成30年1月27日	能「松浦佐用姫」	赤松禎友	中西進	309人
2月24日	能「小塩」	観世清和	山折哲雄	461人
3月24日	狂言「薩摩守」 能「忠度」	善竹忠一郎 上田拓司	村井康彦	372人

・ナイトシアター（全4公演）

1公演は、恒例のろうそく能です。谷崎潤一郎の陰影礼讃のように、ほのかな光の中での美しさを追求し、目だけで見るのではなく、耳からの情報、音・曲を聴き、常と違う面白さの発見を求めています。本年は女優で大活躍中の檀ふみを招き、源氏物語の「空蟬」の部分を朗読し、演目はその曲にちなんで「碁」を再演。独立行政法人日本芸術文化振興会より941,000円の助成金をいただきました。

残る3公演は初心者に向け「能って難しい？いえ、決してそんなことはありません」と題し、全公演にわかぎゑふと大槻文蔵のトークショーを盛り込み、その曲目の見どころや、能の魅力をお話いたしました。第一夜は観るだけでもわかりやすい、初心者向け「土蜘蛛」、第二夜は中級者向け「船弁慶」、第三夜は本格的な幽幻能「井筒」を上演。段階を踏んで能の魅力を理解していただける公演を開催いたしました。独立行政法人日本芸術文化振興会より563,000円の助成金。大阪府より724,000円の補助金をいただきました。

開催日	演目	シテ	お話	入場者数
ろうそく能				
7月8日	能「碁」	片山九郎右衛門	朗読 檀ふみ	352人
能って難しい？いえ、決してそんなことはありません				
初級編9月7日	能「土蜘蛛」	大槻裕一	わかぎゑふ 大槻文蔵	434人
中級編10月5日	能「船弁慶」	浦田保親	わかぎゑふ 大槻文蔵	203人
上級編11月2日	能「井筒」	浅井文義	わかぎゑふ 桂吉坊 大槻文蔵	205人

・夏休み親子教室

お子様やその保護者や初心者を対象として毎年恒例の公演。ワークショップ・体験を行なった後、今年は作家・国立劇場評議員でもある竹田真砂子氏作による新作能「光」を上演いたしました。ストーリーがわかりやすく大変好評であり、またこの公演は落語界のホープ、桂吉坊にナビゲートしていただき、いろんな方に楽しんで

頂ける公演となりました。公益財団法人大阪コミュニティー財団 300,000 円の助成金をいただきました。

開催日	演目	シテ	ナビゲーター	入場者数
8月3日	第一部 WS 第二部新作能「光」	各能楽師 赤松禎友	桂吉坊	153人

・新春公演

吉例の二日間連続公演で、恒例の〈翁〉と人気曲の能・狂言はもちろんのこと、能楽師による鏡割りや、振る舞い酒もご用意して新春を寿ぎました。独立行政法人日本芸術文化振興会より 2,892,000 円の助成金をいただきました。

開催日	演目	シテ	入場者数
平成30年1月3日	「翁・三番三」 狂言「延命袋」 能「鷺」	梅若玄祥・茂山逸平 茂山あきら 観世喜之	332人
1月4日	「翁・三番叟」 狂言「舟渡聲」 能「花筐」	観世鍊之丞・野村萬斎 野村万作 大槻文蔵	507人

・研究公演

今年度は復曲・新曲ではなく護王型能の再検討として、現在も公演されている曲が制作された当初の姿を探るというもので、能の研究者天野文雄氏・大谷節子氏と共に原作の養老を考察、上演致しました。前シテが後場に残り、そこへ後シテ（山神）が瑞現するという、原作当初の形であろう演出を模索しました。独立行政法人日本芸術文化振興会より 665,000 円の助成金をいただきました。

開催日	演目	シテ	お話	入場者数
平成30年2月3日	原作 能「養老」	齊藤信隆 多久島利之	天野文雄 大谷節子	218人

・自主公演サポートクラブ

今年度より大槻能楽堂自主公演をより応援していただく会として自主公演サポートクラブ（プラチナ・ゴールド・ブロンズ会員）を設定し、多くの方に入会いただきました。

(2) 学生鑑賞能事業

小・中・高校生を対象に能楽鑑賞のほか、ワークショップ・体験教室などを併せ、本年度は4公演行いました。

(3) 委託公演能事業

1、有馬能楽堂 能狂言公演

有馬能楽堂で催す恒例の公演を下記の通り計7公演を請負開催しました。

公演日	演目
5月6日	舞囃子「熊野」
5月24日	能「百万」
6月21日	狂言「空腕」「鎌腹」
7月26日	能「清経」
8月28日	狂言「仏師」「蚊相撲」
9月13日	能「安達原」
10月4日	狂言「金藤左衛門」「棒縛」

2、篠山春日能

自治体等が開催している国指定重要文化財である春日神社能舞台で催す恒例の篠山春日能（4月8日能「桜川」狂言「魚説経」能「邯鄲」）公演を請負、より多くの方に伝統芸術に触れる機会を提供致しました。

3、文化庁の「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」

子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的とした事業に本年度も採択いただき、事前にワークショップを行った上、合計23校の公演を実施いたしました。

単年度採択としてCブロック（茨城県 千葉県 東京都 山梨県）にて「大会」、また広報活動含めた複数年度（3年）採択としてJブロック（大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県）にて「土蜘蛛」を上演いたしました。

4、その他、下記公演等の委託を請負開催しました。

- ・彦根城能（9月2日 能「卒都婆小町」）
江戸時代に建造された能舞台において彦根市等が主催。
- ・ピアノと能の饗宴（10月14日 ピアノと能の饗宴「重衡」、ワークショップ）
文化庁等が主催の第32回国民文化祭・なら2017分野別フェスティバル
- ・南都演上 幻の復曲能「重衡」（10月14日 能「重衡」）
奈良県大芸術祭参加事業。
- ・能に親しむひな祭り（平成30年3月3日 能「鞍馬天狗」）
加古川市民会館主催の雛祭りにちなんだ五人囃子・謡等にスポットをあてた公演。
- ・狂言風オペラ「フィガロの結婚」全6公演
オペラと狂言というヨーロッパと日本の伝統的な芸能を結びつけ、高い芸術性と無類の面白さで好評を博している狂言風オペラシリーズ。十五年を迎える今年から能と音楽が加わり、日本の伝統文化が総集結した公演

上記のように今年度も多くの伝統芸能の振興、文化・芸術の普及の為、公演を請負、より多くの方々に伝統芸術に触れる機会を提供致しました。

(4) 謡曲・仕舞教室事業

観能するだけではなく、自らが謡に触れることで、芸能文化活動を主体的に楽しめる謡曲教室全4回（1コース全10回）を開催いたしました。

（本年度仕舞教室の開催はなし。）

開講時期	昼コース1	昼コース2	夜コース
4月～6月	鶺鴒	芦刈	芦刈
8月～11月	井筒	安達原	三輪
12月～2月	巴	松浦佐用姫	巴
3月～	百萬	小塩	百萬

及び大阪府教職員互助組合の退職会員を対象に年4回（3ヵ月毎10回）、実施いたしました。

2. 伝統芸能の振興及び普及を目的とする団体などに施設及び装束等を提供する事業

(1) 能楽堂施設の貸与

伝統芸能「能楽」の振興及び普及を図るため、これを目的とする活動を行う団体や個人（この目的に賛同するものを含む。）に対して当能楽堂が所有する能楽堂を貸与致しました。

能楽の公演会場として年間47件、稽古場として年間352回、その他会議室等として1回貸与いたしました。

また、能楽の公演に限ることなく、日本の様々な芸能の祖である能の本拠地「能舞台」を使用することでそのルーツを認識し、特色を活かせる芸能活動（長唄・文楽のお囃子お浚い会、韓国伝統芸能であるパンソリ公演、英語寄席）に対しても貸与致しました。

(2) 能面・能装束及び作り物の貸与

当能楽堂の財団である能面・能装束及び作り物を、能楽を上演する主催者に貸与しました。

(3) ビデオ能面・能装束及び作り物

能楽堂施設の貸与の一環として、能楽師や一般の人が、自分の体験した能楽の貴重な記録を保存し、能楽研究などに役立たせるためにビデオ録画を行いました。

II 理事会・評議員会等

平成29年6月5日 午前10時30分～

・平成29年度第1回理事会

開催場所 大槻能楽堂
決議事項 第1号議案 H28年決算報告
第2号議案 H28年度事業報告
第3号議案 正味財産増減計算書内訳表の表示方法の変更について
第4号議案 報酬料規定一部改定・追加について
第5号議案 事務局長辞任について
報告事項 1、ロビー空調工事の報告
2、寄附金ご報告
出席等 決議に必要な出席理事の数4名、出席8名 欠席0名 監事出席2名
顧問会計事務所出席 1名 事務局出席1名

平成29年6月29日 午後10時30分～

・平成29年度 臨時評議員会

開催場所 大槻能楽堂
決議事項 第1号議案 H28年度事業報告
第2号議案 H28年度決算報告
第3号議案 正味財産増減計算書内訳表の表示方法の変更について
第4号議案 事務局長辞任・理事長兼務について
第5号議案 理事再任の承認について
第6号議案 根抵当権極度額変更について
出席等 決議に必要な出席評議員の数5名、出席7名 欠席3名 監事出席2名
オブザーバー出席1名 事務局出席1名 理事出席4名

平成29年8月10日

・平成29年度理事会（決議省略によるみなし開催）

決議事項 第1号議案 理事長1名選定の件
第2号議案 常務理事2名選定の件
出席等 決議に必要な出席理事総数8名、監事総数3名、全員より同意書。
顧問会計事務所出席 1名 事務局出席1名

平成29年9月4日 午前10時30分～

・平成29年度第2回理事会

開催場所 大槻能楽堂
決議事項 第1号議案 平成30年度自主公演能について
第2号議案 報酬等規程、その他規程・規則の一部改定追加の件
報告事項 1、職務執行報告
2、大槻能楽堂改修工事についてのご報告
3、寄附金ご報告
出席等 決議に必要な出席理事の数4名、出席8名 欠席0名 監事出席2名

顧問会計事務所出席 1名 事務局出席1名

平成29年12月8日 午前10時30分～

・平成29年度第3回理事会

開催場所 大槻能楽堂

決議事項 第1号議案 平成29年度中間決算について

第2号議案 大槻能楽堂使用規定一部改訂について

第3号議案 大槻能楽堂改修工事について

報告事項 1、職務執行報告

2、寄附金ご報告

出席等 決議に必要な出席理事の数4名、出席8名 欠席0名 監事出席2名

オブザーバー出席 1名 顧問会計事務所出席 1名 事務局出席1名

平成29年12月8日 午後13時00分～

・平成29年度 臨時評議員会

開催場所 大槻能楽堂

決議事項 第1号議案 大槻能楽堂改修工事について

出席等 決議に必要な出席評議員の数5名、出席7名 欠席3名

オブザーバー出席1名 事務局出席1名 理事出席4名

平成30年3月5日 午前10時30分～

・平成29年度第4回理事会

開催場所 大槻能楽堂

決議事項 第1号議案 平成30年度事業計画書(案)の承認について

第2号議案 平成30年度収支予算書(案)の承認について

報告事項 1、改修工事について報告

2、職務執行報告

出席等 決議に必要な出席理事の数4名、出席8名 欠席0名 監事出席2名

顧問会計事務所出席 1名 事務局出席1名

III 附属明細書

平成29年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3号に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成30年6月

公益財団法人大槻能楽堂